1　学部のアドミッション・ポリシー

（1）教 育 学 部

課程・コース		課程・コースのアドミッション・ポリシー
学校教育課程	小中一貫教育コース	小中一貫教育コースでは，児童・生徒の長期にわたる発達過程を見通す見識，児童・生徒への深い理解力，教員としての使命感，責任感，教育的愛情を身につけた教員の養成を目標としています。 **1．求める学生像** 小中一貫教育コースでは，小学校・中学校・小中一貫校の教員等を目指す教職への意欲にあふれ，教職に必要なたしかな知識・技能(以下，「知識・技能」)について研鑽を積み，教育課題を解決するために必要な思考力（以下，「思考力」）と児童・生徒への適確な指導に資する表現力（以下，「表現力」）と学校現場で生きる協調性（以下，「協調性」）をもち，それらをしっかりと身につけるべく努力を怠らない人材を求めています。 **2．入学者選抜の基本方針** 1）一般選抜（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的学力と得意とする教科についての大学の学修で必要となる発展的学力について，大学入学共通テストと個別学力検査，面接によって，「教職への意欲」，「知識・技能」，「思考力」，「表現力」を総合的に判断します。 2)a 学校推薦型選抜（小学校主免専攻） 高等学校での学業成績が優秀な者に対して，大学入学共通テストを課した上で，面接，推薦書・調査書・志望理由書によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では「教職への意欲」，「思考力」，「表現力」，「協調性」について評価します。 推薦書，調査書，志望理由書では「教職への意欲」，「知識・技能」について評価します。 2)b 学校推薦型選抜（中学校主免専攻，専門学科枠） 高等学校専門学科等での学業成績が優秀な者に対して，大学入学共通テストを課さないかわりに，面接，小論文，推薦書・調査書・志望理由書によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では「教職への意欲」，「知識・技能」，「協調性」について評価します。 小論文では「教職への意欲」，「思考力」，「表現力」について評価します。 推薦書，調査書，志望理由書では「教職への意欲」，「知識・技能」について評価します。 3)a 総合型選抜（中学校主免専攻）英語・家庭 得意とする教科を有し，入学後もその教科を専修とすることを希望する者に対し，大学入学共通テストを課した上で，面接，各教科の定める個別審査，自己推薦書，志望理由書，実技・活動等に関する調書によって多様な能力を総合的に判断します。 大学入学共通テストでは「知識・技能」について評価します。 面接，自己推薦書，志望理由書及び実技・活動等に関する調書では「教職への意欲」，「知識・技能」，「思考力」，「表現力」，「協調性」について評価します。 各教科の定める個別審査では，「知識・技能」，「思考力」，「表現力」，「協調性」について評価します。 3)b 総合型選抜（中学校主免専攻）音楽・美術・保体 得意とする教科を有し，入学後もその教科を専修とすることを希望する者に対し，大学入学共通テストを課さないかわりに，面接，小論文，各教科の定める個別審査，自己推薦書，志望理由書，実技・活動等に関する調書によって多様な能力を総合的に判断します。 面接，自己推薦書，志望理由書及び実技・活動等に関する調書では「教職への意欲」，「知識・技能」，「思考力」，「表現力」，「協調性」について評価します。 各教科の定める個別審査では，「知識・技能」，「思考力」，「表現力」，「協調性」について評価します。 4）帰国生徒選抜 帰国生徒に対し，小論文，面接によって，「教職への意欲」，「知識・技能」，「思考力」，「表現力」，「協調性」を評価します。 **3．入学までに身に付けてほしいこと** 高等学校で履修した国語，地理歴史，公民，数学，理科，外国語などの科目に関する基礎学力を十分に身につけると同時に，「思考力」，「表現力」，「協調性」など，大学での学修の効果を高め，充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身につけておくことが望まれます。

課程・コース		課程・コースのアドミッション・ポリシー
学校教育課程	教職実践基礎コース	教職実践基礎コースでは，幼児期から青年期にわたる長期の発達過程を見通した上で，幼稚園・小学校・中学校・小中一貫校に共通する教職に関する高い専門性を持ち，現代の教育課題に多角的に対応できる教員の養成を目標としています。 **１．求める学生像** 教職実践基礎コースでは幼稚園・小学校・中学校・小中一貫校における教育に対して熱意を持って取り組み，教科全般に関わる基礎学力，また，得意とする分野の学力や技能（以下，「知識・技能」）を有し，これらを教育実践に活用しようとする教職への意欲を持っている人，現代の教育課題に対応するために，幅広い学問や文化を意欲的に学び，広い視野を身につけ，それを幼児教育・初等教育・中学校教育・小中一貫教育に生かす思考力・表現力（以下，「思考力・表現力」）を持っている人，また，学び続ける喜びを幼児・児童・生徒と共有したいと考え，宮崎県をはじめとする地域に根ざす学校づくりの有力な一員となる協調性（以下，「協調性」）を持っている人を求めています。 **２．入学者選抜の基本方針** 1）一般選抜（前期日程） 高等学校までに修得した基礎的学力と得意とする教科についての大学の学修で必要となる発展的学力について，大学入学共通テストと個別学力検査，面接によって，「知識・技能」，「思考力」，「表現力」を総合的に判断します。 2）学校推薦型選抜 高等学校での学業成績が優秀な者に対して，大学入学共通テストを免除する代わりに，面接，小論文及び出願書類（推薦書，調査書及び志望理由書）によって，宮崎県の教員をめざし，地域に根ざす学校づくりの有力な一員となる意欲と，現代の教育課題に対応するために他者と協力して課題解決しようする意欲を持つ人を受け入れるために，多様な能力を総合的に判断します。 面接では「協調性」，教職への意欲について評価します。 小論文では「思考力」，「表現力」について評価します。 推薦書・調査書では「知識・技能」，「思考力」，「協調性」，教職への意欲について評価します。 志望理由書では「表現力」，教職への意欲について評価します。 3）帰国生徒選抜 帰国生徒に対し，小論文，面接によって「思考力」，「表現力」，「協調性」，教職への意欲を評価します。 **３．入学までに身に付けてほしいこと** 高等学校で履修した国語，地理歴史，公民，数学，理科，外国語などの科目に関する基礎学力を十分に身につけると同時に，「思考力」，「表現力」，「協調性」など，大学での学修の効果を高め，充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身につけておくことが望まれます。

課程・コース		課程・コースのアドミッション・ポリシー	
学校教育課程	発達支援教育コース	子ども理解専攻	子ども理解専攻では，幼児期から児童思春期にわたる子どもの心理，発達過程を見通す深い見識と理解力，教員としての使命感，責任感，教育的愛情を身につけた教員の養成を目的としています。 **１．求める学生像** 子ども理解専攻では，幼児期から児童思春期の子どもの教育に対する意欲にあふれ，（教職に必要なたしかな知識・技能(以下，「知識・技能」））について研鑽を積み，（目標に向けて強い意志と行動を貫くことができる思考力・主体性（以下，「思考力・主体性」））と（児童・生徒への適確な指導に資する表現力（以下，「表現力」））と（学校現場で子どもと保護者と信頼関係を築き，同僚と協力して問題に取り組んでいける対人関係能力（以下，「協調性」））を身につけるための努力を怠らない人材を求めています。 **２．入学者選抜の基本方針** 1）一般選抜（前期日程） 高等学校までに修得した基礎的学力と得意とする教科についての大学の学修で必要となる発展的学力について，大学入学共通テスト，個別学力検査，面接によって，「知識・技能」，「思考力・主体性」，「表現力」，「協調性」，教職への意欲を総合的に判断します。 大学入学共通テストと個別学力検査では，「知識・技能」，「思考力」について評価します。 面接では，「知識・技能」，「思考力・主体性」，「表現力」，「協調性」，教職への意欲について評価します。 2）学校推薦型選抜 高等学校での学業成績が優秀な者に対して，大学入学共通テストを課した上で，面接，推薦書・調査書・志望理由書によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では「思考力・主体性」，「協調性」，「表現力」，教職への意欲について評価します。 推薦書・調査書では「知識・技能」，教職への意欲について評価します。 志望理由書では「表現力」，教職への意欲について評価します。 3）帰国生徒選抜 帰国生徒に対し，小論文，面接によって「思考力・主体性」，「表現力」，「協調性」，教職への意欲を評価します。 **３．入学までに身に付けてほしいこと** 高等学校で履修した国語，地理歴史，公民，数学，理科，外国語などの科目に関する基礎学力を十分身につけておくことが望まれます。また，「思考力・主体性」，「協調性」など，大学での学修の効果を高め，充実した学生生活を送るために必要な対人コミュニケーション能力を身につけておくことが望まれます。
		特別支援教育専攻	特別支援教育専攻では，障害のある児童・生徒それぞれの発達や特徴を捉える見識と深い児童理解力を持って初等教育を施すことができ，その上で障害に基づく種々の課題や困難を改善または克服するのに必要な知識，技能，態度及び習慣を養うための指導ができる特別支援学校教員の養成を目的としています。 **１．求める学生像** 特別支援教育専攻では「特別支援教育に対する意欲」を持って取り組み，「特別支援教育に関する学修に十分対応できる基礎学力や基礎技能（以下，「知識・技能」）」を有し，「目標達成に向けて強い意志と行動を貫くことができる思考力・表現力（以下，「思考力・表現力」）」，「愛情豊かに他者を思いやることができる協調性（以下，「協調性」）」を持つ人，また，「学修を通して獲得した知識・技能・行動力を教育現場に還元するための粘り強く創意工夫する力や向上心（以下，「創意工夫・向上心」）」を有している人材を求めています。 **２．入学者選抜の基本方針** 1）一般選抜（前期日程） 高等学校までに修得した基礎的学力と特別支援教育に関する大学での学修で必要となる発展的学力について，大学入学共通テスト，個別学力検査，面接によって，「特別支援教育に対する意欲」，「知識・技能」，「思考力・表現力」，「協調性」，「創意工夫・向上心」を総合的に判断します。 大学入学共通テスト及び個別学力検査では，「知識・技能」，「思考力・表現力」について評価します。 面接では，「特別支援教育に対する意欲」，「思考力・表現力」，「協調性」，「創意工夫・向上心」について評価します。 2）学校推薦型選抜 高等学校での学業成績が優秀な者に対して，大学入学共通テストを課さず，小論文，面接，推薦書・調査書によって多様な能力を総合的に判断します。 小論文では，「知識・技能」，「思考力・表現力」について評価します。 面接では，「特別支援教育に対する意欲」，「思考力・表現力」，「協調性」，「創意工夫・向上心」について評価します。 推薦書・調査書では，「特別支援教育に対する意欲」，「知識・技能」について評価します。 3）帰国生徒選抜 帰国子女に対して，小論文，面接によって，「特別支援教育に対する意欲」，「知識・技能」，「思考力・表現力」，「協調性」，「創意工夫・向上心」を総合的に判断します。 **３．入学までに身に付けてほしいこと** 高等学校で履修した国語，地理歴史，公民，数学，理科，外国語などの科目に関する基礎的学力を十分身につけておくことが望まれます。また，「協調性」など，大学での学修の効果を高め，充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身につけておくことが望まれます。